

# しらぬか

# 議云

NO.147  
2020. 1.24

# だより

- 2 令和元年第4回定例会 一般質問6名
- 11 アトキバシツギ「女性管理職の登用について」他2件
- 12 町民と議会の懇談会
- 16 委員会の動き
- 19 平成31年・令和元年 議会・議員活動一覧
- 20 白糠いい店こんな店「焼肉ますや」



## タブレット学習・楽しいよ♪♪

(放課後学習サポート事業を受ける白糠小児童)

1234

## 請 願

### 請願第 1 号

- 「最低賃金と中小企業の拡充を求める意見書」に関する請願  
賛成少数により不採択  
請願は紙面の都合上省略させていただきます。

不採択

## 緊急質問

### 戸別受信機の配備促進事業について

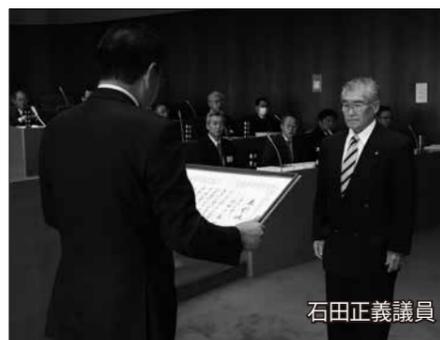
福地議員より緊急質問の提出があり、日程追加されました。

問防災行政無線の戸別受信機配備計画に則り、整備実施設計業務を委託したが、消防庁は今年度予算補正し、特別交付税で財政支援することになったが、ぜひこの事業を活用すべきでは。

答担当課で、この制度の情報収集にすぐに努めた。対象市町村は当初から変更になり 50 市町村となっているが、無償台数 1 万台に対し本町の場合、全体で 4,000 台を整備しなければならない。現在、整備するにあたって道と協議しながら、緊急減災防災事業債という優良な地方制度を使って整備を進めている。まだ情報として財政措置が出ていないので、引き続き情報収集に努め、地方制度を上回る財源効果があれば積極的に活用したい。

## 表 彰

全国町村議会議長会創立 70 周年を記念し、議会議員 30 年以上在籍した功労者を対象とする特別表彰として、全国町村議会議長会より石田議員が表彰を受けました。



石田正義議員

## 契約の変更

### 変更理由

- 白糠消防庁舎改築事業（建築主体工事）工事請負に関し、杭穴掘削時の排土による周辺地盤の沈下等が確認され、杭工事の安全性を確保するため、現状地盤の改良補強が必要となり、設計の一部変更に伴う契約金額の変更

### 質疑・答弁

- 問設計段階のボーリング調査等で判別できなかったのか
- 答通常のクレーン車、杭打ち重量で支えられる地盤改良として 30cm で設計し、実際に機械が入った段階で地盤の沈下が見られ、当初から変更があれば設計変更で対応する事になっている。

可決

## 行政報告

### 古瀬駅の廃止

- 来年 3 月に予定されるダイヤ改正にあわせて、J R 古瀬駅が廃止されるため、運行最終日に「J R 古瀬駅さよならセレモニー」を実施することの報告がありました。

### ALT の着任

- 外国語指導助手、ロジャー・リンジー・マリコさんが、9 月に着任致しました。  
リンジーさんは、アメリカバージニア州出身です。バージニア大学で日本語や日本文化について学び、このたび本町に派遣されました。

### ●着任あいさつ（抜粋）

私は、この 9 月から、すでに庶路学園、庶路こども園で授業をさせていただいております。

私は一日でも早く白糠町の歴史や文化、そして



ロジャー・リンジー・マリコさん

多くの方々と接し、町民の皆様と親しんでいただけると、精一杯努力しますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 補正予算

### 一般会計

補正合計 8 億 9263 万 4 千円

●増額	
まちづくり基金等	313,979,000 円
ふるさと納税関連	708,361,000 円
農地取得に関わる公有財産購入費	4,100,000 円
青少年海外研修支援業務関連	4,300,000 円
古瀬駅さよならセレモニー関係	1,200,000 円
職員給与と費	35,154,000 円
その他	17,405,000 円
●減額	
国の交付金の決定による	
道路改良舗装事業、橋梁長寿命化修繕事業等	151,766,000 円
その他	40,099,000 円

### 質疑・答弁

- 問農地取得にあたり新規就農に向けての人材は。
- 答新規就農を地域おこし協力隊員として募集し、その中で研修をする。現在は新規就農の応募はない。
- 問今回購入する農地以外に売却する農地はないのか。
- 答現在所有している和天別地区の農地以外はない。
- 問跨線橋補修事業負担金に関し、町内 3 カ所の跨線橋の補修は順次遅れるのか。
- 答今回、庶路跨線橋の補修が延び、他の跨線橋も今の J R の状況では遅れる見通し。

### 討 論

- 反対 今回の研修先では良い人材は育たない。すでに交流をしている台湾とか他国が有効。よって、補正予算は反対である。（福地）
- 賛成 本町の子供達が海外研修を通じて異文化に触れることで、白糠を見つめ直し、将来に向けて貴重な体験である。賛成（折出）

採決は、賛成多数により原案可決

可決

# 第 4 回 定例会

12 月 10 日 ・行政報告・一般質問・緊急質問

12 月 11 日 ・補正予算・契約の変更・条例改正・請願

## 条 例 等

### 一部改正・制定・規約

- 白糠町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例  
（人事院勧告に伴い、手当 0.05 カ月分増）
- 町長等の給与に関する条例  
（人事院勧告に伴い、手当 0.05 カ月分増）
- 職員の給与に関する条例  
（初任給・若年層の月例給の引き上げ）  
（人事院勧告に伴い、手当 0.05 カ月分増）
- 白糠町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例  
（会計年度任用職員の給与等の必要な事項を定めるための条例制定）
- 会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備
- 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備
- 白糠町職員等の旅費に関する条例  
（1 泊につき道内 2,200 円増、道外 2,600 円増）
- 釧路広域連合規約の変更

### 質疑・答弁

- 問フルタイムの職員とパートの人数は何人か。退職金の規定は
- 答すべてパートタイム職員で 165 人、フルタイムは退職手当組合に加入が義務であるが、パートは加入対象外

可決

# 一般質問

議員6名が12件13項目について質問しました。  
※一般質問～1人90分以内で、町長等に対して広く町政に関する説明を求めます。

## 1 小野 キサ 議員 ⑤

●次期町長選への立起の意思について

## 2 中村 仁志 議員 ⑥

●幼保無償化について

## 3 坂本 勝雄 議員 ⑦

- 西庶路寿の家の改修、改築について
- 西庶路コミセン前の歩道整備について
- 上庶路庶路停車場線本岐跨線橋の架替えについて

## 4 鎌田 民子 議員 ⑧

●教職員の変形労働時間制について

## 5 福地 裕行 議員 ⑨

- 欧州への外遊について
- アイヌ政策について
- 学校建設事業について
- 町政の総括について
- 企業の<sup>ばいせん</sup>煤煙について

## 6 中河 敏史 議員 ⑩

●農業の振興について

### 次期町長選への立起は

### 町 熟考を重ねて、然るべき時期に 決断する

町長は今日まで広い視野と卓越した行動力、そして何より6期24年の実績と経験をもって、常にまちづくりの先頭に立ち、白糠町の次世代を担う若者たちへ、活力あるまちを引き継ぐため鋭意取り組んできたことは、町民誰もが認めることである。

特に、任前半は、行財政改革の断行と市町村合併という行政課題にも果敢に取り組み自立後も更なる行財政改革を着実に進め、現在の持続可能な行財政運営を確立したものである。

現在は「原点に立ち返り、足元を見つめ、耕し直す」ことを念頭に、3本柱を重要視点とした「新たなまちづくり」が進行している。

今後その時代にあった的確な施策を展開するには町長の力量と能力が必要である。町長は現在、北海道町村会

長として、全道144町村のリーダーとして全国的に活躍しており、広い人脈とネットワークを活かし、チャレンジ精神をもっていかなる難局へも果敢に取り組んでいる姿勢は全道各市町村長も評価しているところである。

わが町は今、人口減少対策と防災・減災対策などの重点項目に取り組まなければならない。今まで培ってきた、人脈やネットワークを最大限に活かすことで、難局を打破できるものと確信している。

令和の時代を迎えても本町のリーダーとして、次期町長選挙に立起するべきと思うが、考えを伺う。

まちづくりに対する思いを支え、導いていただいた議会議員の皆様、町職員、そして何よりも町民の皆様のご理解とご支援、ご指導のお陰と感謝している。

私は、町長就任から一貫して「子どもたちの笑顔輝くまちづくり」、「お互いの力で築くまちづくり」を基本理念に、「まちは子や孫への贈り物」の信念のもと、「ふるさと白糠」を次代へしっかりと引き継いでいくために、「今に生きる私達は、何をしておかなければならないのか、そのために今何をすべきなのか」をまちづくりのベクトルとして、常に意識しながら町政の執行にあたってきた。「第一次産業の再興と振興、町民の健康づくり、教育（意識改革）」の3本柱を重要視点とし、第7次から現行の第8次白糠町総合計画に引き継ぎ、議会、町民、行政が一体となったまちづくりが着実に進行しているところである。

次期町長選挙への立起の意思については、これまで進めてきた協働のまちづくりの経過と現在の状況を鑑み、更に

は、しっかりとしたまちづくりの方向性の中で、本町が持つ豊かな自然と気候風土、恵まれた地域資源を活用しながら、将来に向かって安全で安心して住み続けられるまちを築いていくことが重要であるという原理原則を踏まえた上で、来年6月以降、私がまちづくりにどのように関わっていくかについては、去就進退の予断を持たずに様々な視点から熟考を重ねているところであり、次期町長選挙に向けては、後援会の皆様のご意見もしっかり体しながら、然るべき時期に決断する考えである。



小野 キサ 議員



中村 仁志 議員

### 茶路へき地保育園の副食費を無償化にできないか

#### 町 来年度に向けて検討する

【町】平成30年4月より、町は国に先駆けて幼保無償化をいち早く推進してきたことは評価したいが町内における保育園の昼食については、茶路へき地保育園以外では、昼食（おかず）が無償となっているが、茶路へき地保育園においては、保護者負担となっている。不公平感があるのではないかと。その格差を是正して子育て世帯支援を拡充させるために補助を出すなど手立てが必要と思われるが、町の考えを伺う。

【町】茶路へき地保育園は、町が特例的に設置している認可外保育施設として、茶路地域の子どもたちの保育の確保や子育て支援の役割を担ってきた。茶路へき地保育園における昼食については、開設当初より、弁当持参としてきたが、平成30年度からの「すべ

副食費の取り扱いについても、本町の子育て支援の取り組みとして、改めて保護者の皆様と協議し、来年度へ向けて検討していきたい。



※1 「認可外保育施設」とは児童福祉法に基づく都道府県知事などの認可を受けていない保育施設のこと、「認可保育所」などの地方単独保育事業の施設も対象に含まれます。

#### 傍聴者へのお願い

- 1 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
- 2 開議中は、飲食・喫煙はできません。
- 3 カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
- 4 私語などにより議事の妨害、他人への迷惑をかけるようにして下さい。
- 5 帽子、オーバーコート等は着用しないで下さい。

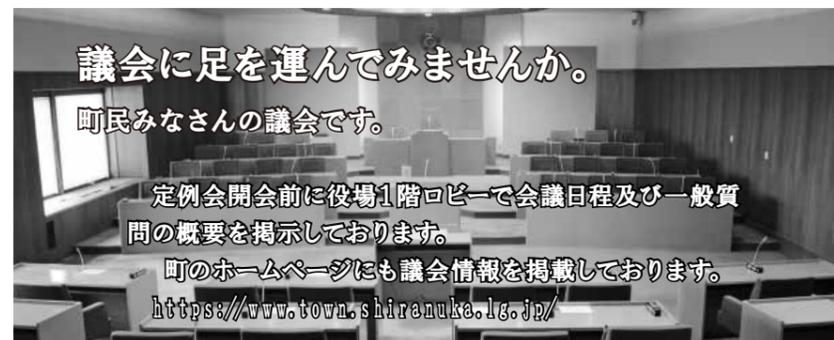
#### 議会に足を運んでみませんか。

町民みなさんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。

町のホームページにも議会情報を掲載しております。

<https://www.town.shiranuka.lg.jp/>



坂本 勝雄 議員

### 西庶路寿の家の改修・改築について

#### 町 高齢団体や西庶路連町と協議し取り進める

【町】西庶路寿の家を利活用している近隣町内会から老朽化が激しく、床も抜け落ち使用できる状況ではないとのことである。改修、改築の予定があるのか伺う。

【町】西庶路寿の家については、昭和50年設置以来、地域の高齢者の生きがいや健康づくり、地域活動の場として利用してきた。この間、施設の利用に支障がないよう、屋根や床など適宜修繕を行い、施設の維持管理に努めてきたが、建設から43年が経過し老朽化が進み、その対策について検討してきた。町としても、施設の改修は難しいと判断している。施設の場所や規模などを含めた内容について、高齢者団体、西庶路連町内会と協議をしながら、取り進めて

いきたいと考えている。

### 西庶路コミセン前の歩道整備について

#### 町 老朽化の著しい箇所を優先に計画的に整備する

【町】西庶路コミセン前の歩道はマンホールの突起、アスファルトの凸凹で特に高齢者、若者でも歩行、往来が大変である。歩道整備の計画があるのか伺う。

【町】現在、コミセン前の歩道については、部分的に段差を緩和する応急補修対応を実施している所である。本年度、道路パトロールの中で目視での点検を行い、その結果を基に、町道の車道や歩道の利用等により老朽化の著しい箇所を優先的に次年度より補修・整備を実施することとしている。西庶路コミセン前の歩道については、この計画の中で実施する予定である。



歩道にある集水枡

### 道上庶路庶路停車場線本岐跨線橋の架替えについて

#### 町 令和4年度にも工事着手する予定

【町】跨線橋の劣化や擁壁及びロードヒーティングの老朽化により架替えが計画され、具体的な内容について詰まっていると思うが実施

期間も含め内容を伺う。

【町】事業主体の道が予定している具体的な事業内容では、計画ルート上の架橋位置は、現橋より東側の庶路川方向に移動し、JR線路から国道38号までの距離を確保することにより、国道接続部を現在よりも緩やかな勾配とし、市街地端にルートを変更することにより、住宅系地域の東西分断を解消することなどが計画されている。

【町】今後のスケジュールは、本年度中に実施設計を完了させ、令和2年度に道の公共事業事前評価に係る審査、国及びJRなど関係機関との協議を経て、令和4年度にも工事着手し、5箇年（令和8年度）の完成を見込み実施する予定と伺っている。町として、引き続き、道や関係機関と連携を図り、関係町内会、地域に情報提供等に努める。



鎌田 民子 議員

### 教職員の变形労働時間制をどう考えるか

**町** 国や道の情勢を把握して検討していく

**変形労働時間制**は現在、民間のみに適用可能となっている。公立学校に導入されれば学期中など忙しい時期の勤務時間を1日10時間まで増やすことが可能とされている。その代わりに夏・冬休み中などの勤務時間を減らし、1年の平均で、1日当たり8時間に収めるとしている。市町村で判断できるようなことになるというが、ただでさえ先生方は、残業せざるを得ない状況にある。このような「働き方改革」をどう考えるか。

連省令の整備が行われる。そうした国や道の情勢を的確に把握して、変形労働時間制を効果的に活用した「働き方改革」の推進について、検討していきたいと考えている。

支援システムにより、出退勤管理を行っている。白糠小、白糠中、庶路学園3校で10月平均の時間外勤務は19時間39分、11月は18時間30分。45時間以上の時間外勤務の教職員は、10月が69人中22人(31・9%)、11月69人中19人(27・5%)。

**変形労働時間制とは**  
繁忙期の所定労働時間を長くする代わりに、閑散期の所定労働時間を短くするといったように、業務の繁忙や特殊性に応じて、労使が工夫しながら労働時間の配分等を行い、これによって全体としての労働時間の短縮を図ろうとするものです。



教職員の業務は長時間化しており、極めて深刻な問題である。見直すことは、子どもたちに対して効果的な教育活動をするためにも急務の課題と考えている。今後、労働基準法の改正や関

心外勤務をしている教職員で、多い人で月何時間ほどか、実態など把握しているか。

法整備され仮に条例で決まっても、この法律は「そうすることが出来る」という条例で「そうしなければならない」というものではない。学校側、先生達とも十分協議し、どのような形が良いのか、校長会の話し合いなどをすすめる中で、今後、何度も協議していく。

法整備され仮に条例で決まっても、この法律は「そうすることが出来る」という条例で「そうしなければならない」というものではない。学校側、先生達とも十分協議し、どのような形が良いのか、校長会の話し合いなどをすすめる中で、今後、何度も協議していく。

### 欧州視察の成果は

**町** 感銘を受けた

稀有な経験の成果はどうか。また町民への還元手法は。デンマークとリトアニアを訪問したが、道町村会の報告書ができ次第、町民に報告する。

視察内容と得られた糧は。デンマークでは環境への意欲的な取り組みに感銘を受けた。道町村会としても積極的に取り組む考えだ。リトアニア

アは、NATO駐留のお陰で地域が振興・発展している。ユダヤ人を救った杉原千畝さんのことも感動した。来年初、中高生を派遣したい。

### 中国への派遣は

**町** 国際感覚を養う 絶好の機会

アイヌ政策交付金で小中学生を中国に派遣することは断じて容認できない。

本町とも関わりが深いので適当と判断した。中国を取り巻く情勢と共産党一党独裁の現実を見るとき危機感が全く足りない。

異文化に触れさせることが最大の目的である。交付決定の内閣府も甘い。ただの物見遊山になりかねない。

浙江省のシエ族は、アイヌ民族と近似している。今日までの海外交流は、全て中途半端である。台湾・新北市の学校との交流は続いている。

事業費の捻出が叶わなく統合するが、千島海溝沿いの巨大地震による大津波に備え方策を講じて九合の山へ移転構築するべきである。意見を国に対して要請活動を行ってきたが、現時点で補助制度の目処が立たない。茶路川氾濫の危険性を鑑み統合を最優先させる。想定される巨大津波高を国は未だ発表しないのは政治力

### 白小・白中は 高台に移転を

**町** 先ずは白中に 統合する



長きに亘る権力は腐敗する。言葉が躍り、何かしら、やっている感はあるが、あきらめムードが漂っている。金科玉条のまちづくり3本柱とて目を見張る実績は無い。結果がすべてを物語る。人口減少と少子高齢化は全国的な課題。林産業界の衰退が一番響いてきたが、今は働

随分長きに亘り町長職に就いてきたが、白糠町の創生どころか白糠町の崩壊に向けて衰退に拍車が掛かる現状を直視し、総括を伺う。変化の本質と時代の要請を捕捉し、最大限その対応に当たってきたが、まちの更なる可能性を引き出す動きが出てきた。先頭で自身の知見と見識をもってきたと自負している。長きに亘る権力は腐敗する。言葉が躍り、何かしら、やっている感はあるが、あきらめムードが漂っている。金科玉条のまちづくり3本柱とて目を見張る実績は無い。結果がすべてを物語る。人口減少と少子高齢化は全国的な課題。林産業界の衰退が一番響いてきたが、今は働

### 「二十四年」の総括は

**町** 全身全霊で 取り組んできた

随分長きに亘り町長職に就いてきたが、白糠町の創生どころか白糠町の崩壊に向けて衰退に拍車が掛かる現状を直視し、総括を伺う。

### 煤煙に苦しむ

**町** 企業に喚起する

わがまちが誇る一大企業札幌ベニヤ社は常時二百数十人を雇用くださる誠に有難い存在である。一方、工場から頻りに放出される煤煙により近隣住民は数十年の長きに亘り大変な迷惑を被っている。

企業は、煤煙濃度の測定を年2回実施しているが、基準値内であるとの回答があり、法令等に適合している。企業は水質検査を含めて都合の良い状況を報告するものだが現実が全て。真っ黒くモクモクと上がる煙が、規定値に納まる筈がない。しっかりと意を用いよ。公害専門委員のこの件での活動は。専門委員会の活動の記録は無い。



福地 裕行 議員



中河 敏史 議員

けることが現実味を帯びてきた。農林水産物の減少額が600億円(1100億円と試算されており。本町の酪農業にも牛の個体価格の低下などすでに影響が出始めている。白糠町は、第1次産業の再興と振興をにかけていることからさらなる支援が必要である。

影響額について農林水産省の試算では、600億円から1100億円に及び、特に牛肉、豚肉、乳製品が大きな影響を受けるとされている。北海道においては、235億円から371億円と試算されているが、仮に北海道の試算結果から飼養頭数割合で本町の影響額を算出すると、牛肉では1.5億円から3億円、乳製品でも0.8億円から1.2億円と試算される。

### 町 日米貿易協定案衆議院通過による農業への対応は

関係機関と連携し必要な支援を行っていく

日米貿易協定案が衆議院を通過し農業が大きな影響を受

後、国の対策が重要と考えている。本町としては、第1次産業を再興し、振興していくことが何よりも重要なことと捉え、各種農業施策を展開し、守るべきものはしっかりと守りながら町農業の発展に寄与する事業に取り組みなど、チャレンジをする酪農・畜産農家の方々については、時宜にかなった支援に努めている。

今後とも国、北海道の農業対策の動向を注視するとともに、釧路丹頂農業協同組合など関係機関と連携を図りながら、必要な支援を行っていく。

### 町 スラリーの臭いを白糠町から改善せよ

中山間白糠集落と協議しながら対応する

圃場の糞尿処理をする方法にスラリーがある。大規模経営に多い処理方法であるが、散布時の臭いが各方面で問題に

なっており、本町も例外ではない。本町は早くから臭いを緩和する薬剤の開発などを企業とおこなってきた経緯があるが普及していないのが現状である。臭いの問題を少しでも軽減するため薬剤の使用に對し補助をするなどの対策を推進し、少しでもこの問題を軽減してはどうか。

畜家畜ふん尿の臭気については、酪農をはじめ、畜産業において共通の課題と認識をしているが基本的には個々の農家が自ら周辺の環境整備に努め、対策を講じることが重要である。

本町では、平成24年度に「白糠町家畜環境対策協議会」を立ち上げ、臭いを消すのではなく、臭いを変えるという発想のもと、関係機関と連携を図りながら「デオマジックHG」という香料の商品開発に繋がった経過がある。この「デオマジックHG」は一定の効果を発揮することから、本州では普及が進んでいるが、本町では堆肥舎等と近隣住民の生活圏まで距離があり、臭気

の問題提起が少ないこと、散布する面積が広大かつ効果の持続性が短く費用対効果が薄いことなどから普及が進んでいない。



▲デオマジックHG

昨年度「白糠町家畜環境対策協議会」で「デオマジックHG」の普及に関し、一部の場所でも対策を講じるべき意見があり「中山間白糠集落」へ働きかけ、本年度から噴霧器の導入に対する助成制度が創設されたのでスラリー形態の農家に限らず多くの方々に活用していただき、地域住民や観光客などに対して、臭気の軽減が図られることに期待したい。「デオマジックHG」の普及と合わせ、一部スラリー形態の農家が薬剤投入による臭気の軽減を実施しているケースもあり、臭気対策に効果がある手法であれば、支援策も含め「中山間白糠集落」と協議しながら対応していく。

# 追跡 アントキノシツギ

あの案件はどうなった?

過去の質問・質疑の中から、あの質問等がその後どうなったのかを調査する

「追跡 アントキノシツギ」今回は、3件の質問を追跡しました。

## 追跡① 女性管理職の登用に ついて

●平成26年第2回定例会 中河議員の一般質問

当時の質疑・答弁(抜粋) 全国的に女性の管理職が増加傾向にあると思われるなか、本町の女性管理職、主幹以上はこの3年間ほとんど登用さ

れておらず、内閣府及び厚生労働省で提唱する一定割合で女性を登用する、ポジティブ・アクションの推進を働きかけているが、女性管理職の割合と現状をどのように受け止めているのか伺う。

追跡の結果 3名の女性が管理職として奮闘中 男女問わず、在職・勤務年数、経験、企画・判断・決断力、また部下の指導・育成力を含めたりリーダーシップ、コミュニケーション力などを要件として総合的に判断し管理職として登用されています。

## 追跡② 西庶路コミュニティセンターの駐車場について

●平成26年第3回定例会 石田議員の一般質問

当時の質疑・答弁(抜粋) 施設の利用内容によっては西庶路コミュニティセンターの駐車場が混雑し、路上駐車による危険な状態をたびたび目にする。隣のテニスコートを一時駐車場として開放する考えはないのか伺う。



△西庶路コミュニティセンター南側駐車場

追跡の結果 駐車スペースが拡大された 平成30年2月から施設南側に新たな駐車スペースとして、乗用車52台分定めらるようになった。

## 追跡③ 公用車へのドライブレコーダー設置について

●平成29年第2回定例会 中河議員の一般質問

当時の質疑・答弁(抜粋)

常日頃、交通安全の認識に立ち、細心の注意を払っているが、町職員も公用車に乗る機会が多いと思う。町職員のさらなる安全意識の向上による交通事故の減少を目的として、公用車にドライブレコーダーを設置する考えはないか伺う。

### 追跡の結果

公用車にも順次ドライブレコーダを搭載

搭載車が今後も増えることにより、交通事故防止はもろんのこと、犯罪抑止力の強化も期待される。

※現在の搭載状況 70台中7台に搭載



西庶路コミュニティセンター

議会改革・活性化特別委員会主催

# 町民と議会の懇談会

- 11/8 西庶路コミュニティセンター 17人
- 11/14 社会福祉センター 19人

▼町民からの質問・要望 **対** 議会の今後の対応 **答** 議会の回答



社会福祉センター

## 防災

### 防災施設について

▼防災啓発用シミュレーションを鑑賞し、いろいろな意見が出た。高台にある避難施設には20分以内での避難は不可能である。海岸地区には、津波に耐えうる施設は無く、最大20mの津波対応の一時避難施設を検討してほしい。津波から町民の命を守るためには平地にも避難施設の設置が必要と考える。

▼突然の地震で町内会の組織が、防災訓練のとおり機能するかどうかは難しい。地域に5mでも10mでもいいから避難施設があれば安心。

▼総務文教常任委員会の所管事務調査事項「防災・減災対策に関すること」にて調査する。【16頁を参照】

## 地域交通

### 町営バスについて

▼庶路・西庶路地区のコミュニティバスは生協（コープさっぽろ）まで行かないため、高齢者や75歳以上の運転免許返納者が、買い物に行く場合、白糠駅から歩くのは大変である。事前にコースの変更をお願いしたが、すぐには変更は無理といわれた。

白糠コミュニティバスは生協（コープさっぽろ）まで行くため、庶路・西庶路との間に不公平を感じる。高齢者は勿論、町民が皆利用しやすい町営バスのコース見直しの検討をしてほしい。

▼町営バスは2年程度で見直しをする方針と聞いているがいつやるのか。

▼産業厚生常任委員会の所管事務調査事項に「地域公共交通に関すること」を追加し調査する。【17頁を参照】

### 高齢者外出促進について

▼今年6月1日から釧路市が高齢者外出促進の目的で、1回100円で乗れる制度ができた。これは大変喜ばしい事ですが、定期券が値上げされたが大変高くなり、高齢者は困っている。釧路市は1ヶ月1000円の助成をしている。これは釧路管内全体の問題として利用者に対する何らかの方法を考えて頂きたい。

町の高齢者外出支援6000円券は利用交通の限定がある。くしろバス・阿寒バス等の利用も考え、近隣町村の連携を図る改善方法を考えてほしい。

▼産業厚生常任委員会の所管事務調査事項に「地域公共交通に関すること」を追加し、調査する。

### バスターミナルについて

▼買い物物の帰りなど、立ち寄れる高齢者の居場所を設けて欲しい。また、駅前広場整備に花壇の設置場所を設けて欲しい。

▼産業厚生常任委員会の所管事務調査事項「白糠駅舎の改築及び駅前整備に関すること」にて調査する。【17頁を参照】



JR利用について

▼議会だよりでJRのこと、駅舎改築のことが掲載されている。今の「JR」は民間企業なので、利用しないとどんどん無人化し、特急が停まらなくなる。白糠駅での乗車券の購入は役場も含め少ないので、白糠駅で購入してほしい。JRを利用してはいるからどこで購入しても同じと考えるのは甘く、白糠駅の収入が存続に関係する。

## 道路等

### 道路補修と歩道整備について

▼西庶路地区の道路補修をお願いしたが連絡が来ない。歩道も悪く、高齢者の通行も危ないので整備してほしい。

※第4回定例会で坂本議員が一般質問しました。【7頁を参照】

### 道道上席路庶路停車場線について

▼以前に跨線橋の架け替えなど町内会に説明があつてから数年が経過している。その後の進捗状況について教えてほしい。

※第4回定例会で坂本議員が一般質問しました。【7頁を参照】



### 白糖高校の存続について

▼町、議員共々大変手立てを講じてきている。久遠塾など高校の先生と塾の先生が一緒になって、指導に当たり良い方向にきている。白糖に高校がなくなつたら、非常に寂しい事であり白糖高校存続のために知恵を絞って頂きたい。

対総務・文教分科会で議論したうえで、総務文教常任委員会の所管事務調査する。



### 少子高齢化について

▼自然減で少子高齢化が益々進む中、町・議員それぞれ色々な手立てを講じてきている。そのような中、特に高齢の方々が安心して白糖に住んで良かったと言われるような対策を練ってほしい。これは時間のかかることですが、色々な方策を蓄積して欲しい。

対総務・文教、産業・厚生分科会で議論したうえで、両常

任委員会において所管事務調査する。

### 人口問題について

▼我が町の抱えている問題は、人口減と高齢化問題と考えるべきで、議員として自分の考えを付して追求して欲しい。

対総務・文教、産業・厚生分科会で議論したうえで、両常任委員会において所管事務調査する。



### 観光事業について

▼白糖町には、自然資源・観光資源が沢山ある。観光事業をやるには種が豊富にある。活用の仕方によっては、シカもクマもパシクル湖も観光の目玉になる。今後は観光事業を中心に立案し煮詰めて、高齢者の短期雇用につなげなが

ら観光事業を完成させる努力をして欲しい。

対産業厚生常任委員会の現行の所管事務調査の中で調査する。今後、観光事業についても調査を検討する。



### 地球温暖化防止について

▼来年から「地球温暖化防止のパリ協定」が正式に実行される。約3年前にクールチョイス26についての配布物があったが、温暖化ガスを減らす・排出量を減らす運動であることは良く知られていない。町民に地球温暖化防止の意識を高める施策を考えてほしい。

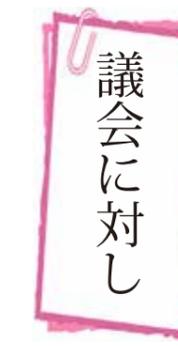
白糖町で掲げているクールチョイスは2013年〜2020年で26%の排出量を減らす目的です。前年に比べて、今年ほどのくらい減ったか意識を持ってほしい。

対町において、化石燃料資源の更なる節減に取り組みよう通知する。

### ヤナギ植樹について

▼ヤナギの挿し木の活着率が非常に悪い。現地を見ているのか。一考していただきたいため関係部署にも連絡している。

対町において、活着率の向上を含め、本事業目標の達成に向け推進するよう通知する。



### 議会改革・活性化特別委員会の提言内容について

▼新年度予算の提案説明の簡素化  
時間をかけないで、簡単な予算書の補足説明程度の資料を提供すること。1年間の町の予算について審議する

説明を、省略する議会であつてはいけない。また、議案は細かく説明を求めないと内容の精査はできない。

審議の簡略化は、予算審査特別委員会の審議の時になっていく。本特別委員会で全議員に諮って、決定した。

【補足】提案説明の省略ではなく、口頭説明を簡略し、分かりやすい追加資料の提供を求めた。

▼9月の定例会で会期を延長して決算審査特別委員会を組成している。これは議会内部で、今後検討されるテーマと思うが、1年に1回の会期（通年議会）だけ決めておけばと思う。

対議会運営分科会で議論し、本特別委員会で協議する。

※通年議会とは、定例会、臨時会の区分を設けず、会期の回数を1回とし、会期の長さを1年間として運用すること。

▼予算・決算審査特別委員会の正副委員長を、全議員（議長を除く）による。順番制にすることについて、文字にするに法に触れる。

対本特別委員会で全議員に諮って、決定した。

【補足】正副委員長は互選により選出する。規則改正ではなく、申し合せ事項の提案である。

### 議員定数、議員報酬、政務調査費について

▼議員定数、議員報酬、政務調査費を議員で決めることに、違和感がありますので、問題提起したいと思う。また、議員で決める根拠は何か。一般の代表から意見を聞く方法もあるのでは。

対議員定数、報酬、政務活動費については、1年前に特別委員会で審議した。今回の本特別委員会でも一つのテーマとして各分科会で検討され、協議していく。町の基本条例の規定により議会が改正案を

提出することになっている。

▼去年、議員定数に関するアンケートが立ち消えになった経緯と議員定数に対する議員の考え方について意見を聞きたい。

対アンケートは、議会の総意では無かったため、回収した。

対総務・文教、産業・厚生分科会で議論し、本特別委員会で協議する。



### 議会傍聴について

▼議会の傍聴をPRしているが、一般質問の内容が町内会・地域に関係している時は町内会長等に連絡頂ければ大

## 議会の出前懇談会

議会では、議会との懇談を希望される団体やグループがいつでも、どこでも懇談できるように出前懇談会を開催します。

### 開催方法・要件

申込／懇談したいテーマがありましたら、開催希望日の2週間前までにお申し込みください。

テーマに応じて左記の分科会が、希望する日時・場所に伺います。ただし、議会期間中はご遠慮願います。

対象／町内在住で5人以上出席見込みのある任意の団体やグループ  
進行／懇談会の進行は、申込者がお決めいただいても結構です。

### 議会改革・活性化特別委員会組織

総務・文教分科会 (防災・教育・その他)	産業・厚生分科会 (産業、民生福祉)
議会運営分科会 (議会運営)	広報・広聴分科会 (議会だより)

産業厚生常任委員会 12月17日

所管事務調査

「町民と議会の懇談会」の中で、町営バスの運行や高齢者へのバス定期券の助成制度、バスターミナルの改築に関する意見、要望があり、町民サービス課より説明を受け調査しました。

地域公共交通に関すること

○地域公共交通活性化協議会の協議内容について

- 1 茶路沢、庶路沢地域間の途中降車を認めることで決定
- 2 沢地域区間の利用金額、一律200円に決定
- 3 ルートの変更、バス停の新設、料金の割引については、今後に向け検討する。

○高齢者外出促進に係る助成制度の検討について

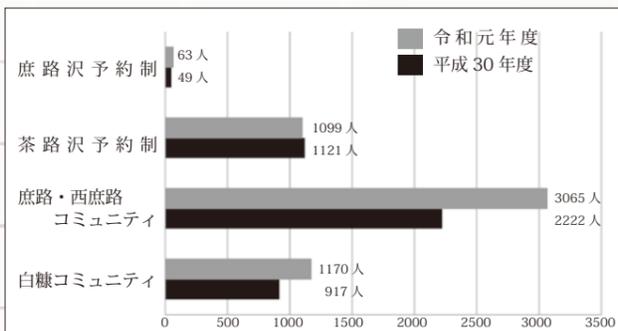
高齢者に限らず、くしろバスの利用者には釧路に通学する生徒にも助成する形となり、白糖高校の支援に反してしまうことから、難しい部分があると考えているため、町全体としては、助成制度の検討はしていません。

○町営バス及びタクシーの利用状況について

町営バス利用者の4月から11月までの前年度比で約1100人の利用が増えている。

タクシー利用者の4月から11月までの前年度比で運行時間の延長もあったことから、約2100人の利用が増えている。

●町営バス利用状況



白糖駅舎の改築及び、駅前整備に関すること

○白糖駅舎改築及びバスターミナル改築の協議進捗状況について

JR本社の考え方として、5つ程度の計画案を町側が示し、それを協議の土台として検討したい旨、回答があった。町の基本構想を示さなければ、JR北海道との協議は進まないため、新年度予算に基本構想を作成するための予算を計上する予定です。

また、内部では事業目的としてJR北海道と協力した地域の活性化、アクセスの向上、賑わいの創出、歴史文化を生かしたまちづくりなどについて、各担当に説明し町民の要望も含め具体策を検討していく。

【今後の予定】

- 令和2年3月 基本構想へ向けた素案のまとめ
- 令和2年4月 基本構想 委託発注 JR協議
- 令和3年4月 JR協議
- 令和4年 基本設計
- 令和5年 実施設計
- 令和6年から8年 工事

議会改革・活性化特別委員会

10月31日、12月3日

町民と議会の懇談会のまとめについて

11月8日、14日に行った町民と議会の懇談会の質問・意見等を広報・広聴分科会でまとめたものを今後どのように取り扱うかについて決定した。

各分科会の取り組み状況の報告後、提案事項が提出された。

＜取り組み状況＞

●議会運営分科会

議会関係条例、規則の検証作業が年内に終了する予定の報告がある。

＜提案事項＞

●議会運営分科会

予算・決算審査特別委員会正副委員長の互選の申し合せ順番について

●広報・広聴分科会

議会だよりの編集要領(案)について

総務文教常任委員会 12月13日

所管事務調査

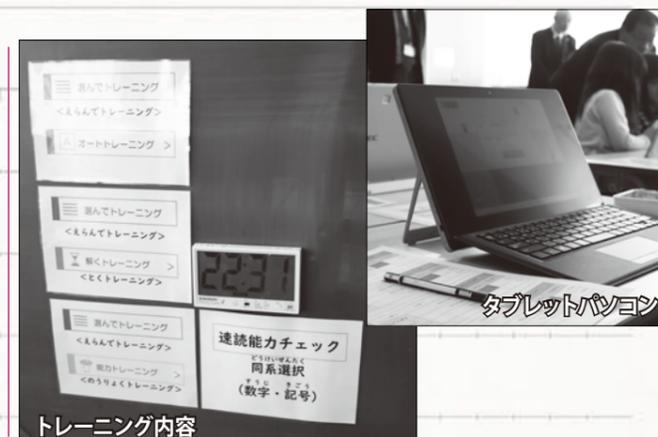
放課後学習サポート事業に関すること

○白糖小学校視察

放課後学習サポート事業とは

家庭での学習時間が少ない実態を踏まえて、早い段階から子どもたちに自主的な学習習慣を身につけてもらうことを目的とした授業。授業内容は小学校1、2年生の児童を対象に放課後を利用して、タブレットパソコンによる速読、速解力、計算反復問題、漢字の練習などを行う。この他2から5年生の算数の授業サポートを行っている。委員会では、授業内容を視察しました。

※各学校により内容は変更となる。



タブレットパソコン

「町民と議会の懇談会」の中で、町民より海岸地区住民の津波避難対策、避難施設に関する意見があり、地域防災課より説明を受け調査しました。

防火・減災対策に関すること

○海岸地域の津波避難対策について

(1) 海岸地域の津波避難対策について

津波指定避難場所及び避難経路の整備、防災備蓄資材整備、防災行政無線(同報系)整備、防災教育事業実施、防災啓発用津波・洪水CG作成、災害対策費用保険加入、防災行政無線(移動系)同報転用戸別受信機整備の説明を受けました。

(2) 津波避難対策(避難施設)の先進事例について

【先進の避難施設】

平時は横断歩道橋、非常時は津波避難施設とした施設、外付けの「屋上専用階段」のある避難ビル、民間の立体駐車場を津波発生時の緊急避難場所に確保した施設などの先進地の避難施設を確認した。



高知県四万十市避難タワー

◀▲内閣府(防災担当)が紹介している津波避難タワーの事例(抜粋)

千葉県旭市三川避難タワー

(3) 防災啓発用シミュレーションの活用状況について

今年度に入って防災教育事業、出前講座(防災)で災害シミュレーションCGの上映を11月12日開催の町内会役員、消防団員等を対象に上映会を開催したのを確認した。

【議員からの質疑】

問 避難施設にある32機の発電機の点検はどんな方法で行っているか。

答 2カ月に一回程度、津波指定避難場所にあるコンテナの中身の点検をする際に始動ができるか確認をしている。

問 各避難所に避難される人数を想定し、備蓄しているのか。それとも一律で備蓄しているのか。

答 国の指針により、建物は3㎡に一人、津波の指定避難場所は、1㎡で一人換算している。全員避難した場合の、一律に整備しているため適宜、使う物をそれぞれ拠点から運び込む考え方をしている。

問 厳寒期に災害が起きた場合、装備は十分に間に合うのか。

答 津波指定避難場所では、一昼夜を想定し、薪や、臨時的に使えるストーブなどがある。拠点施設には、ジェットヒーターなど装備している。絶対数は足りないので避難者には身の回りのものを持参するように徹底しなければならない。

平成31年・令和元年 議会・議員活動一覧

Date  
平成31年1月1日から令和元年12月31日

区分	坂本 勝雄	澤原 孝行	折出 征清	立石 巧	中河 敏史	中村 仁志	小野 キサ	鎌田 民子	山吉 公德	福地 裕行	小池 憲一	石田 正義	富田 忠行
定例会・臨時会	開催回数	9	9	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	出席	9	8	13	13	13	13	11	13	13	13	9	13
	欠席	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0
	遅参・早退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	全日出席率	100%	88.9%	100%	100%	100%	100%	84.6%	100%	100%	100%	69.2%	100%
各種委員会(※1)	開催回数	31	21	50	62	45	59	61	62	48	26	24	28
	出席	31	20	50	62	42	59	61	60	48	26	24	39 <sup>※2</sup>
	欠席	0	1	0	0	3	0	0	2	0	0	0	6
	遅参・早退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全日出席率	100%	95.2%	100%	100%	93.3%	100%	100%	96.8%	100%	100%	100%	78.6%
会議・研修会等	13	11	21	18	14	30	14	27	34	20	57	20	96
町内行事	11	9	6	11	10	16	14	5	13	12	10	19	62
町外行事	1	1	1	1	0	0	0	2	1	2	1	7	23
合計活動回数	65	49	91	105	79	118	102	105	109	73	105	77	233

- ※1 常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、分科会の延べ日数延べ回数。所属によって開催日数が異なります。(委員会開催前の打ち合わせは日数に含む。)
- ※2 富田議長は常任委員会には所属しませんが、オブザーバーとして出席しています。
- ※3 坂本議員、澤原議員については、令和元年5月の任期期間からとなっています。
- ※4 活動回数は、事務局が把握している数字で、この他にも個々の活動を行っております。

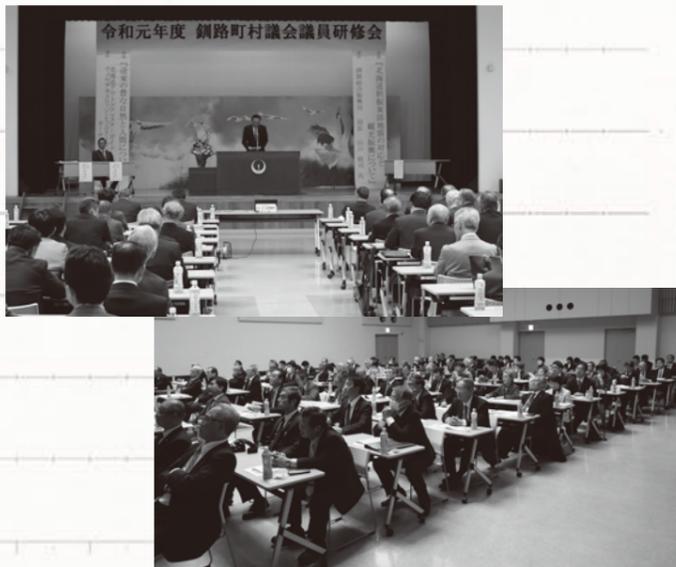
釧路町村議会議員研修会 11月19日 鶴居村総合センター

釧路町村議会議長会主催による議員研修会が鶴居村で開催され、本町からは13名全員が参加しました。

研修内容は、釧路総合振興局局長の山口修司氏「北海道胆振東部地震の対応と観光振興について」と北海道アウトドアマスターガイド ウィルダネス ロッジ・ヒッコリー・ウィンド オーナーの安藤誠氏「道東の豊かな自然と人間について」の二つの講演でした。

山口氏は昨年発生した「北海道胆振東部地震」の被災市町村の応急対応、主な業務、今後の課題。観光振興では、食と観光の事例、成長分野の産業についてのお話。安藤氏は観光に必要なガイドのお話でした。

共に今後の議員活動に役立つ貴重な講演でした。



議員協議会 12月13日

教育施設の件について

○教育施設の設置について(町長より報告)

地熱開発などの掘削技術を教育する専門学校で現在国内の掘削技術者が極端に少ないという現状と将来への危機感から、日本地熱協会など業界を上げて、その設置を目指している。

経過は、株式会社町おこしエネルギー代表取締役沼田昭二氏が設立代表者となり、学校法人ジオパワー学園を設立。学校教育法に基づき専修学校に専門課程を置く、専門学校を設置するもの。日本の地熱業界をリードする人材の育成を目指し、建設場所は、釧路工業団地の北側に町おこしエネルギーが所有を

する6.5haの社有地に校舎、寄宿舎、学生寮を建設。定員は80名、1年生の学校を設置する計画。現在令和4年4月1日の開校に向けて、諸手続きを進めている。令和2年度から校舎の建設に着手をする予定との報告を受けました。

【議員からの質疑】

●釧路工業団地の6.5haは、馬を念頭に買った場所だが、馬に関する事業は撤退ということになるのか。

○馬は、断念していません。

行政視察の受け入れ

○10月24日、当別町議会

- ・「小中一貫教育」について
- ・「庶路学園」について

○11月25日、安平町議会

- ・「義務教育学校」について



安平町議会議員

行政視察レポート

八王子市との交流事業について

視察日程：令和元年11月15日～17日  
視察先：八王子市議会、市教育委員会、いちよう祭り会場 ほか

視察事項：①小学生交流事業、②アイヌ文化交流事業、③八王子いちよう祭り会場での駒踊り披露、④八王子市議会懇談会 ほか

【所感】平成11年から始まった小学生5、6年生の交流事業は、お互いの地を訪問し、様々な体験、活動を通し、お互いの歴史や文化に触れ、友情を育み心身と共に成長することを目的としている。八王子市の子供たちは自然体験が特に印象に残っているようで、現在も手紙の交換が続くほど、双方の子供たちには毎年募集人員を超える人気の事業となっている。

平成22年度からは小学生のアイヌ文化交流も始まり、白糠アイヌ文化保存会が講師を務めている。また、八王子市に赴き大人向けのアイヌ料理や刺繍体験などは大好評を得ている。

白糠駒踊り創立100周年記念として八王子いちよう祭り会場に2日間にわたり踊りが披露され、勇壮に舞う駒たちに会場からは大きな拍手が送られていた。

子供から大人まで双方の絆が深まるよう交流事業をさらに発展させるため、今後も継続して調査を行うこととする。



会議録作成員を募集

議会定例会や臨時会の会議録を作成していただける方を募集します。

募集人数 / 3名 (人員を超えた場合は面接有)

- ・議会定例会(3、6、9、12月)、臨時会ごとに会議が録音された音声データから、パソコンへのテープ起こし作業(文書に書き換え)
- ・録音時間は1時間30分から2時間30分程度
- ・3月以降の定例会、臨時会からの作業
- ・反訳料は、音声データ15分ごとに2,500円。

- ・町内在住の20歳以上の方
- ・パソコンを持っている方で、Wordの操作が可能な方。
- ・顔写真を貼った履歴書を議会事務局(役場内)へ郵送または持参してください。

2月14日(金)締切り

●問合せ先/議会事務局(内線303)



## 白糠いい店 こんな店

今号でご紹介するのは、「焼肉 ますや」さんです。

白糠町で貴重な焼肉店で、いつも明るい店主（頼子さん）とお母さんとパートさんでお店を切り盛りしています。

店内は入ってすぐのテーブル席が2つ、右手に座敷席が並ぶ店構えです。座敷には24人から最大で30人ほど座ることができ、小さい椅子もあります。

定番の焼肉ジンギスカンは、先代から引継いだオリジナルの味付けとなっており、牛カルビ、ホルモンなども人気となっています。

また、焼肉店ですが焼肉以外のメニューも豊富で、昼時にはラーメンや豚丼が人気です。

これからの季節、インフルエンザなどに負けないために週末家族で、焼肉を食べてスタミナをつけてみてはいかがでしょうか。

お店で食べる時間の無い場合は、お持ち帰りメニューもあります。

●住所：白糠町東3条南1丁目1番地10

●電話：(2) 3939

●営業時間：11時00分～21時00分  
(月曜定休)



【おしらせ】焼肉 ますやさんからのご提供～2名以上のご来店での注文の際「議会だより見たよ」で、ソフトドリンク1杯をサービス。(本年2月25日迄。お一人様一回限り)



## あしがき

皆様には新春を健やかに過ごしのことだと思います。元号も平成から令和に変わり、時代の大きな節目でもありました。その中で私どもの選挙もあり、早速、特別委員会を立ち上げ、議会活性化に向かい歩き出しました。懇談会の意見や要望を行政に届けてまいります。

今後も議会をよろしくお願い致します。

(立石)



次回の定例会は  
3月上旬です。



## 今号の表紙



今号の表紙は、総務文教常任委員会で白糠小学校の放課後学習サポート事業の視察に伺った時の授業風景です。子ども達がタブレットパソコンを使ってとても楽しそうに問題を解いていました。